

原宿タイムズ 広報誌

原宿リハビリテーション病院 広報誌

原宿タイムズ

HARAJUKU TIMES

Vol. 27

原宿リハビリテーション病院 広報委員会

企画・発行所：原宿リハビリテーション病院 広報委員会

内容

P1：夏祭り/夏の飾りつけ
P2：イブニングレクリエーション/BLS研修
P3：原虎連携会/プリセプター制度
P4：行事食/園芸活動日より
P5：むすびプロジェクト/不在者投票/防火・防災訓練
P6：部署紹介/アイスクリームの提供

病床数 221床

新所沢駅から徒歩 8分

2023年11月25日(土)

新規開院

社会医療法人社団 埼玉巨樹の会
所沢美原総合病院

〒359-0045 埼玉県所沢市美原町2丁目2934-3
お問い合わせ 04-2997-8199

健康な未来を
令和 健康科学大学

テクノロジーの進化は医療分野の変化をもたらす。
今こそ、先端科学を知る医療人へ。

看護学部 定員数 80名
看護学科 80名

リハビリテーション学部 定員数 80名
理学療法学科 80名

リハビリテーション学部 定員数 60名
作業療法学科 60名

本学開校 2022 established

〒359-0045 埼玉県所沢市美原町2丁目2934-3
お問い合わせ先 令和 健康科学大学
ADD: 福岡市東区和白丘2-1-12 TEL: 092-607-6701

Instagram X YouTube

ホームページのご案内

病院の詳細な内容は、ホームページでご覧いただけます。
ぜひご参照くださいませ。
グループ病院ホームページにもリンクできます。

原宿リハビリテーション病院 検索
https://harajuku-reha.com/

原宿リハビリテーション病院 広報誌

原宿タイムズ

HARAJUKU TIMES

Vol. 27

令和6年9月発行

原宿リハビリテーション病院

日本医療機能評価機構認定病院

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-26-1
TEL 03-3486-8333/FAX 03-3486-8334

夏祭り

5階病棟では季節イベントとして夏祭りを実施致しました。
一か月ほど前から集団レクリエーションでコツコツと盆踊りの練習をした成果もあり、大変賑わっていました。
その他にも磁石を使用した魚すくい、輪投げ、ボール入れなどをして、「法被を着てお祭りができるなんて思わなかった。夏を感じられた」と患者さまが嬉しそうに笑顔を浮かべていたのが印象的でした。
患者さまが入院中少しでも楽しく過ごせる時間を提供できるよう、これからもスタッフ一同取り組んでまいります。
クラーク 中島

10・11階病棟では、デイルームにて夏祭りを行いました。
リハビリテーション科スタッフと看護補助者が手作りのうちわや飾りつけをし、入院患者さまに夏祭りの雰囲気味わっていただきました。
患者さまは法被を着て鉢巻をして、ダーツやボーリングなどをスタッフと一緒に、笑顔になっていらっしやいました。
また、みんなで東京音頭などを踊りました。盆踊りは身体が覚えているそうで、「何年もやってないけどすぐに踊れたわ」と喜んでおられました。
最後に記念撮影をして、参加された方には写真をお配りしました。盛夏のひとつき、入院中の思い出になって下されば幸いです。
コンシェルジュ 山木

夏の飾りつけ

ご入院中の余暇の過ごし方は患者さまによって様々ですが、リハビリテーションの時間に作成した工作の続きをしたり、季節の作品を作成したりしています。出来上がった作品は、デイルームに飾っています。
7階病棟では、ひまわりをメインに飾りつけをして、病棟の雰囲気がぐっと夏らしくなりました。
入院中でも、患者さまに季節を感じていただけたらと思います。
クラーク 袖山

イブニングレクリエーション

リハビリテーション科では夜の時間にレクリエーションとして、モザイクアート、クラフトバンド、映画鑑賞を行っています。
モザイクアートでは、お花紙をちぎり丸めて模造紙に貼り、大きな作品を作っています。お花紙とは、薄くて柔らかい紙素材で、紙の花をつくる時に用いられます。完成品はリハビリ室に飾り、誰でも楽しめるようにしています。
クラフトバンドでは、スタッフと一緒に患者さまそれぞれの個性があふれる作品を制作しています。最初は難しいと思っていた方でも、完成に近づくことで「毎日来るのが楽しみ！」とおっしゃられ楽しく取り組まれています。
また、イブニングのレクリエーションは患者さま同士やスタッフと楽しく話し合いながら行うため、よい交流の場となっています。
リハビリテーション科 レクリエーション委員会

BLS研修

当院では、年に一回職員を対象にBLS研修を行っています。
BLSとはBasic Life Supportの略で、心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置のことを言います。
直接医療に携わる職種だけでなく事務職員なども研修に参加し、1人ずつ順番に実践練習を行います。
今回は、胸骨圧迫(心臓マッサージ)とAEDの使用法、救急カートや応援の呼び方を確認いたしました。
実際にやってみると、胸骨圧迫は思った以上に力を要し強く速く動かさなければならず難しく感じました。
AEDは院内にも多数設置されていますが、実際に触って操作する経験が無いので、実践的なトレーニングとなりました。
有事の際に落ち着いて速やかな対応ができるよう、今後も継続した取り組みを行ってまいります。
コンシェルジュ 山木